

令和4年3月31日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・ひなたぼっこえびすヶ丘

施設種類：認知症対応型共同生活介護

3月の運営推進会議は、コロナウイルス感染拡大防止の為、事前にホームの状況等を書面で送り、後日皆さんから意見を聞き運営推進会議開催に変えることにした。

【入居者状況】

入居者9名（女性 9名 男性 0名）

平均年齢 93歳 平均介護度 2.8

【活動状況】

- ・ 散歩・日光浴・ドライブ・体操
- ・ 計算ドリル・新聞折り・書写・パズル・雑巾縫い・
- ・ 塗り絵・ちぎり絵・ひな人形作り
- ・ 行事～節分（豆まき）・ひな祭り（お寿司作り）

【事故・ヒヤリハット・苦情】

- ・ 事故 5件（転倒・入居者同士のトラブル）
大事には至らなかった
- ・ ヒヤリハット 5件（転倒の危険・薬忘れ・誤薬の恐れ・転落等の危険）

【その他】

*災害訓練実施（風水害）

- ・ 風水害の場合はホームに留まる事になっている。
- ・ 備蓄品は揃っている。停電時は非常灯は継続的に点灯しない為、懐中電灯を使用する。1階・2階廊下は懐中電灯を点灯したままにし、夜間トイレに行かれる時に歩行しやすいようにする。
- ・ 応援職員は早い段階で招集しホームで待機する。応援者が大雨等で道中危険な状況とならないよう、安全な状況の時にホームに移動しておく。

*コロナワクチン接種3回目

- 入居者・職員実施し異常はなかった。

*面会について

- 面会制限再開となり、窓越し面会を行う。窓越し面会は会話が聞き取りにくい為、職員が所々会話の仲介を行う。最近の入居者の方も窓越し面会に慣れて来られ、戸惑いは少なくなった。玄関の所から日常の様子も見る事が出来、窓越しでの会話もお互い元気である事が確認出来、安心に繋がっているように感じる。

(意見)

- コロナワクチン3回目が終了し、異常が見られなかったことに安心した。ワクチン接種が順調に進んで対面面会や外出が自由に出来る事を願うばかりです。
- ヒヤリハットの転落の危険とはどのような状況だったか。



(回答)

- ベットで休まれていた方を起こそうとされ、他入居者の方が電動ベットのモーターを使用しベットを上げておられた。職員がすぐに気がつき元に戻した。